

見分けよう！カメ類かんたん早見表 1/4

よくご相談いただくカメ

在来種ならそのまま見守る／外来種なら防除へのご協力をお願いします

① アカミミガメ

外来種（条件付特定外来生物）

対応：野外で捕獲した個体は、終生飼育または適切に処分。難しい場合は、持ち帰らず、捕獲地点で放す。

※飼いがいる可能性がある個体は処分しない。



② ヤエヤマイシガメ

在来種（八重山諸島） 島によっては外来種

対応：八重山諸島以外では、アカミミガメと同様



③ リュウキュウヤマガメ

在来種（沖縄島北部、渡嘉敷島、久米島）

島によっては外来種 天然記念物

対応：地域を問わず天然記念物のため、沖縄県文化財課へ相談

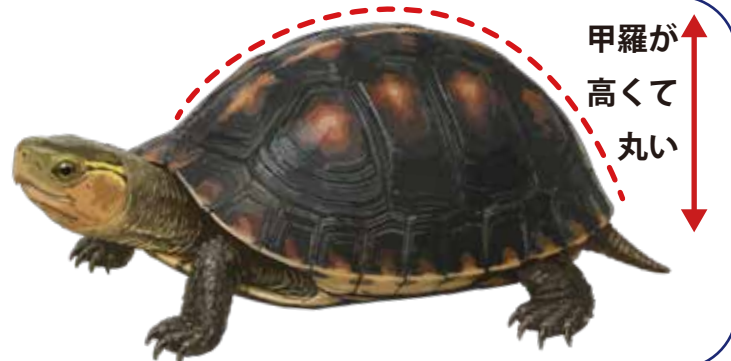


④ ヤエヤマセマルハコガメ

在来種（石垣島、西表島）

島によっては外来種 天然記念物

対応：リュウキュウヤマガメと同様



⑤ カミツキガメ

外来種（特定外来生物）

対応：危険なので、写真を撮って、沖縄外来種.comへ通報



詳しく写真で見る・他のカメも見る▶▶▶

i

本イラストは、各種の特徴をわかりやすく伝えるために作成したものです。鱗板の形や枚数等の細部については実際の形態と異なることがあります。詳しく調べたい方は、図鑑などをご確認ください。

くわしく見る① アカミミガメ／ヤエヤマイシガメ

① アカミミガメ

外来種（条件付特定外来生物）

側頭部



耳の後ろが赤い
(成熟オスでは消失)

黄色の縞模様

甲羅



黄色や黒の縞模様（成熟オスは黒化）

腹側



緑に目玉模様（成長に伴い黒くなる）

参考情報

ペットとして広く流通
沖縄県内各地で確認あり

② ヤエヤマイシガメ

在来種（八重山諸島）

島によっては外来種

側頭部



薄い黄色の筋

甲羅



淡褐色 扁平状

腹側



黄色地に暗色斑

参考情報

八重山諸島以外では国内外来種。
リュウキュウヤマガメとの交雑
が確認されている。

対応

外来種のカメを野外で捕獲した場合は、終生飼育または適切に処分*。難しい場合は、持ち帰らず、捕獲地点で放す。
*飼い主がいる可能性がある個体は処分しない。



*
詳しくはこちら
アカミミガメ
防除の手引き

くわしく見る② リュウキュウヤマガメ／ヤエヤマセマルハコガメ

3 リュウキュウヤマガメ

在来種（沖縄島北部、渡嘉敷島、久米島）

島によっては外来種

天然記念物

甲羅
赤褐色



ギザギザ

腹側



黒色

参考情報 過去にペットとして捕獲・取引された。本来の生息地以外で見つかることがある。

4 ヤエヤマセマルハコガメ

在来種（石垣島、西表島）

島によっては外来種

天然記念物

甲羅
高くて丸い



箱のように閉じる

腹側



黒色

参考情報 本来の生息地以外で見つかることがある。リュウキュウヤマガメとの交雑が確認されている

対応

原則として飼育不可。
地域を問わず天然記念物のため、沖縄県文化財課へ相談。



沖縄県
文化財課

くわしく見る③ カミツキガメ／ワニガメ／スッポン類／クサガメ

5 カミツキガメ

外来種 (特定外来生物)

大きな頭



長い尾

写真提供：マチャ / PIXTA(ピクスタ)

参考情報

過去に沖縄島での確認例あり

6 ワニガメ

外来種

大きな頭



ギザギザな甲羅

ワニのような尾

写真提供：GOUSETSUSAIKYOU / PIXTA(ピクスタ)

参考情報

過去に沖縄島での確認例あり

対応

原則として飼育不可。危険なので、写真を撮って、沖縄外来種 .com へ通報。



沖縄外来種 .com

7 スッポン類

外来種

甲羅は皮膚で覆われている



鼻が突出している

参考情報

養殖用として持ち込まれた

8 クサガメ

外来種

黄色の縞模様 (成熟オスでは消失)



甲羅に3本のキール (筋状のでっぱり) がある

参考情報

ペットとして広く流通

対応

外来種のカメを野外で捕獲した場合は、終生飼育または適切に処分*。

難しい場合は、持ち帰らず、捕獲地点で放す。*飼い主がいる可能性がある個体は処分しない。



* 詳しくはこちら アカミガメ 防除の手引き

